



31 前橋城絵図

年不詳 (近世カ)
* 縦 204 cm × 横 198 cm

前橋城はもと厩橋城といひ、15世紀末に箕輪長野氏の一族により築かれたとされています。その後は上杉・武田・織田・北条と主を変え、徳川家康が関東に入国すると側近の平岩親吉ちかよしを入城させました。そして関ヶ原の戦いの後、重臣の酒井重忠しげただが入城し、酒井氏はその後約150年にわたり城主を務め、城下町の整備を行いました。この絵図は、前橋藩酒井氏の菩提寺である龍海院りゅうかいいんに伝来した絵図で、酒井氏統治時代の前橋城の姿を伝えている絵図です。